

スタッフ(訪問支援員)

坪本 悠希 言語聴覚士・保育士
病院勤務や大阪医専非常勤講師、特別支援学校のセンター的機能充実事業の講師など経て、現在は、姫路獨協大学非常勤講師も務めています。



甲斐 亜妃 作業療法士
これまでリハビリテーション専門病院に勤務してきました。1回1回の関わりを大切に、お子さんの想いを引き出せるような支援をしていきたいと思えます。



政岡 順子 保育士
保育士として勤務した後に児童発達支援事業所や放課後等デイでの支援に携わってきました。本人も周りも楽しく日常生活が送れ、生きやすくなるための関わりや環境を一緒に考えていきます。



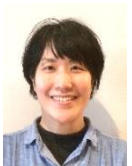
西分 直子 公認心理師
これまで小学校教員、教育相談員として、特別支援教育に携わってきました。お子さんの強みを活かした支援をしていきたいと思えます。



仁田 静香 作業療法士・非常勤
姫路獨協大学の講師として発達障害支援の研究・実践に取り組んでいます。不器用さに対する支援が専門です。



中川 朝香 作業療法士・非常勤
これまで精神科病院、児童デイサービスセンターに勤めてきました。子どもたちの「やりたい」を大切に、楽しい経験を共有できる支援を心がけます。



2022.4.21

プレイジム

〒672-8089

兵庫県姫路市飾磨区英賀宮台51

TEL/FAX 079-227-4110

事業所番号 2854001225

HP <http://playgym.info>

Mail info@playgym.info



Facebook



Website



山陽電鉄「夢前川駅」徒歩12分
JR「英賀保駅」徒歩15分

株式会社アニマシオン

animacion.co.jp

Next Move

新たな”次の一手”を創造します

保育所・学校等への訪問支援事業

プレイジムはインクルーシブ社会を理念で終わらせない



プレイジム®へようこそ

インクルーシブ保育・教育の実現のために

プレイジムは、「苦手さがなくなること」「なにかができるようになること」のためだけではなく、専門的な視点で個々の子どもにとって、今、大切な発達課題や配慮すべき特性を捉え、子どもが自分自身の想いを実現していくための力を育むことを大切にしています。

管理者・児童発達管理責任者 太田篤志

作業療法士・特別支援教育士SV
元姫路獨協大学・教授
日本感覚統合学会・理事
日本スヌーズレン協会・会長
日本自閉症スペクトラム学会・常任理事



学童保育・保育園、重症心身障害児施設での作業療法に従事した後、広島大学医学部・学部内講師、姫路獨協大学・教授などを歴任。現在、発達障害に関する研究・講演・執筆活動に携わりながら、自治体・教育委員会・特別支援学校での研修、保育園における特別支援保育のサポートなどにも取り組んでいます。

保育所等訪問支援とは

(以下の説明は、国の規定にプレイジムの見解を加えて変更したものです)

特別な支援を必要とする子どもたちが、保育所や学校のなかで、心地よく生活をおくることがや自分の力を発揮し自分の願いや想いを実現できるように、個々の子どもの発達段階や特性、学校・保育園の状況に応じて、適切かつ効果的な支援を行うものです。

- 本人に対する支援
- 訪問先施設のスタッフに対する支援

※支援は2週に1回程度が目安。支援の目的・内容によって頻度は、週1回～3ヶ月に1回など調整。

プレイジム®の訪問支援

●子ども理解

支援の第一歩は、子どもの理解です。子ども自身が、どのような想いや願いを持っているのか、なぜ集団生活のなかでこのような行動(特に周囲が困惑するような行動)をするのかなどを感覚特性、運動・認知・心理面などから分析し、子どもの本物の姿・思いを知ることを支援します。

●遊び・楽しみの充実

子どもにとって本当に楽しめる遊びについて、独特な感覚の嗜好性(感覚特性)や認知的なこだわり、発達段階を踏まえ検討し、生活のなかでの楽しみを充実できるよう支援します。

●わかりにくさ、やりにくさ、不快感の軽減

感覚過敏による辛さ、認知特性による物事のわかりにくさ、不器用さによる難しさなどに対して、活動・課題の配慮や伝え方の工夫(視覚的支援)、各種支援グッズ、ICT機器の活用などによって、子どもの生活や学びが心地よさのなかで実現できるようにします。

●他者へ関わる意欲とスキルを育む

他者への関心の芽生えを育み、一緒に楽しみを共有していくための支援や言葉に限らない多様なコミュニケーションの方法(PECSなど)を活用し、自分の思いを伝えていくためのスキルを獲得できるよう支援します。

●遊び・活動に関わる意欲とスキルと育む

粗大運動や巧緻運動の力を育む活動・遊びの提案を行うとともに、自信をもって遊びや課題に取り組み、できた思いを積み上げることができるように支援します。

●活動の調整・代替

保育園や学校で実施されてる活動・課題を子どもが理解し能動的に参加できるとともに、適度な挑戦と達成感を得ることができるように、特性や発達アセスメントに基づいた活動・課題の調整・代替について助言します。

これらの支援を通して、同じ場で共に生活し学ぶことのみならず、実感・達成感を持ちながら、充実した時間を過ごすことができるインクルーシブの実現を目指します。

ご利用方法

ご利用にあたっては、保護者とプレイジムとの間で契約を結ぶ必要があります。また保護者が福祉施設を利用するための受給者証をお持ちでない場合、まず相談支援事業所との契約が必要となります。なお利用料は、保護者に負担して頂くことになり、施設側(保育所・学校等)の負担はありません。

※保護者の負担額は、1回あたり1200円～1800円程度となりますが、保護者の所得状況などによって無料となる場合もあります。

ご利用までの流れ

- ①利用を検討される場合、まずはプレイジムへご連絡ください。
- ②施設(保育所・学校等)、保護者、訪問支援事業所(プレイジム)の3者で、施設内で支援の必要性の是非について検討し、3者の合意が得られれば手続きを進めます。
- ③相談支援事業所、教育委員会等との情報交換・調整(プレイジム)
- ④相談支援事業所の相談・契約(保護者)
- ⑤相談支援事業所による利用計画作成
- ⑥受給者証取得
- ⑦プレイジムとの契約(保護者)
- ⑧利用開始

プレイジムは、児童福祉法に基づく保育所等訪問支援事業の指定を受けています